

人事行政の運営等の状況について

市の人事行政運営等について市民のみなさんに理解していただくため、「岡谷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員の任用、給与、服務等について、平成18年度の概要を公表します。（給与等については、平成19年4月1日の状況も併せて公表します）

1 任免及び職員数

(1) 採用の状況 (H18.4.1~H19.3.31)

(単位：人)

職 種	事務職等	保健師	保育士	栄養士	医療職	技能労務職	合 計
男 性	7				6		13
女 性	3	3	1		29		36
計	10	3	1	0	35	0	49

(2) 退職の状況 (H18.4.1~H19.3.31)

(単位：人)

職 種	事務職等	保健師	保育士	栄養士	医療職	技能労務職	合 計
男 性	13				14	1	28
女 性	2	2	6		38	6	54
計	15	2	6	0	52	7	82

(3) 職員数の状況 (各年度4月1日現在)

(単位：人)

職 種	事務職等	保健師	保育士	栄養士	医療職	技能労務職	合 計
平成19年度	384	18	93	24	387	56	962
平成18年度	383	16	97	24	393	67	980
差 引	1	2	-4	0	-6	-11	-18

(注) 豪雨災害復興対策部署新設のため、事務職等が増となっています。

2 給与に関すること

平成18年度普通会計における人件費の決算額は、39億6,101万3千円で、歳出決算額191億1,364万1千円の約20.7%です。

なお、この人件費には市長、助役、収入役および市議会議員などの特別職に支給される給料、報酬、手当などを含んでいます。



(1) 一般行政職の級別職員数の状況 (医療職を除く)

《行政職給料表》

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	合 計
標 準 的 な 職 務 内 容	事務員・主事 技術員・技師	主任	主査	主幹	主幹	課長	部長	
H19.4.1 現在	職員数 62人	126人	217人	42人	69人	47人	12人	575人
	構成比 10.8%	21.9%	37.7%	7.3%	12.0%	8.2%	2.1%	100.0%
区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	合 計
標 準 的 な 職 務 内 容	事務員・主事 技術員・技師	主任	主査	主幹	主幹	課長	部長	
H18.4.1 現在	職員数 72人	121人	230人	47人	62人	45人	10人	587人
	構成比 12.3%	20.6%	39.2%	8.0%	10.5%	7.7%	1.7%	100.0%

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況

区 分		一 般 行 政 職			技 能 ・ 労 務 職		
		平均給料	平均給与	平均年齢	平均給料	平均給与	平均年齢
H19.4.1 現在	岡谷市	319,800円	361,531円	40歳10月	340,300円	376,179円	54歳9月
	長野県	366,648円	432,505円	45歳1月	335,604円	373,396円	47歳1月
H18.4.1 現在	岡谷市	321,000円	361,719円	40歳7月	338,500円	362,900円	54歳8月
	長野県	369,778円	438,394円	44歳6月	340,704円	377,834円	46歳6月

(3) 特別職の報酬等の状況

区 分	月 額	期末手当
給料(注1)	市長	814,500円
	助役	684,480円
	収入役	628,900円
報酬(注1)	議長	441,750円
	副議長	380,160円
	議員	345,940円

(平成18年度支給割合)
6月期 1.60月分
12月期 1.75月分
計 3.35月分

(注1) 給料月額、岡谷市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例による減額後の額です。

(4) 職員の初任給の状況(H19.4.1現在)

区 分	学 歴	初 任 給
岡谷市	大学卒	170,200円
	高校卒	138,400円
長野県	大学卒	170,200円
	高校卒	138,400円



(5) 職員給与費の状況 (一般会計予算)

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 年 額 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
19年度	463人	1,747,326千円	255,276千円	701,825千円	2,704,427千円	5,841千円
18年度	472人	1,795,396千円	258,091千円	727,706千円	2,781,193千円	5,892千円

(注) 職員手当には児童手当および退職手当を含みません。

(6) 一般行政職の経験年数別・学歴別平均給料月額状況

区 分		経験年数7年以上 ～10年未満	経験年数10年以上 ～15年未満	経験年数15年以上 ～20年未満
H19.4.1現在	大学卒	238,900円	283,600円	329,000円
	高校卒	202,800円	238,900円	282,600円
H18.4.1現在	大学卒	242,800円	285,500円	326,400円
	高校卒	204,500円	239,500円	289,300円

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものです。

(7) 職員手当の状況

期末・勤勉手当 (平成18年度支給割合)

岡 谷 市			長 野 県		
期 別	期 末	勤 勉	期 別	期 末	勤 勉
6月期	1.40月分	0.725月分	6月期	1.40月分	0.725月分
12月期	1.60月分	0.725月分	12月期	1.60月分	0.725月分
計	3.00月分	1.45月分	計	3.00月分	1.45月分

職務の等級による加算措置 有 職務の等級による加算措置 有

時間外勤務手当 (平成18年度普通会計)

支給総額	139,870千円
職員1人当たり 支給月額	25,013円

(注) 豪雨災害対応分を含みます。



退職手当（H19.4.1現在支給割合）

岡谷市			長野県		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
その他の加算措置	・調整額加算措置 (調整月額×60月分) ・定年前早期退職の特例措置(2%~20%)		その他の加算措置	・調整額加算措置 (調整月額×60月分) ・定年前早期退職の特例措置(2%~20%)	
特別昇給	勸奨退職者 8号俸		特別昇給	無	

特殊勤務手当（平成18年度普通会計）

区分	全職種
職員1人当たり 支給月額	341円
代表的な 手当の名称	滞納整理事務 感染症防疫 給食業務 福祉現業 変死体処理 工事現場監督 清掃業務等

その他の手当

区分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	扶養親族のある職員に支給されます。	同じ	
住居手当	借家または借間に居住し、一定額を超える家賃を支払っている職員、および自己所有等の住宅に居住する職員に支給されます。	一部異なる	岡谷市—自己所有等居住の職員は一律3,000円 国—新築5年まで2,500円
通勤手当	通勤のために交通機関または交通用具等で通勤する職員に支給されます。	同じ	

3 勤務成績の評定の状況

評定の回数	評定の時期	被評定者数
年1回	1月	897人

4 福利厚生状況

区 分	内 容 等
市町村共済組合事務	・保険加入、脱退手続き等 ・人間ドック助成 受診者93人（内脳ドック併用18人）
職員安全衛生事業	・定期健康診断 10項目 受診実人員 751人 ・人間ドック助成 受診者107人（内脳ドック併用14人） ・メンタルヘルス対応 相談事業等の実施
職員互助会補助事業	・職員福利厚生事業補助金 7,910,000円

5 公平委員会の報告事項

区 分	件 数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申立ての状況	0件



※以上の概要は、岡谷市ホームページ（<http://www.city.okaya.nagano.jp>）にも掲載していますのでご覧ください。

定員管理の状況について

1 「第3次岡谷市定員適正化計画」の概要

(1) 計画期間 平成17年度から20年度までの4年間

(2) 基本的な考え方

事務事業の進捗状況に合わせた職員配置、民間委託の推進、嘱託職員・臨時職員の活用、組織の見直し等によって職員の削減を図り、職員数の適正化に努めます。

ア 一般会計および特別会計の職員数

- ・一般会計等の既存業務における職員数について、平成16年4月1日現在の511人から49人削減し、平成20年4月1日には462人とします。
- ・平成18年度から27年度までの10年間に100人(20%)の削減を目指します。

(職員数は、各年度4月1日現在の定数)

部 門	区 分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	合 計
一般会計 特別会計	計 画		△11	△15	△8	△15	△49
	職員数	511	500	485	477	462	

イ 公営企業会計（病院事業・水道事業・下水道事業）の職員数

効率的な経営に努めながら、経営上必要な職員数を確保します。



2 「第3次岡谷市定員適正化計画」の進捗状況

平成19年度は、一般会計等職員数について9人、公営企業会計職員数について3人を削減しました。今後も適正な職員配置を推進し、効率的な業務執行に努めます。

(職員数は、各年度4月1日現在の定数)

部 門	17年度	18年度	19年度	19年度の主な0増減理由
一般会計 特別会計	500 (△11)	479 (△21)	470 (△9)	豪雨災害復興対策室の設置による増 正規職員の嘱託・臨時職員化による増
公営企業 会 計	534 (△2)	534 (0)	531 (△3)	正規職員の嘱託・臨時職員化による増
合 計	1,034 (△13)	1,013 (△21)	1,001 (△12)	

(注) 19年度は、定数1,001人のところ38人の欠員が生じたため、実際の職員数(実数)は963人(教育長を含む)となっています。

なお、欠員38人のうち37人は、上記「イ 公営企業会計」の職員です。